

港湾荷役業における激突災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
4	9~10	大型ダンプに貨物の積み込みが完了し、荷台シートを掛けるためシートロープを下方向へ引っ張った際、ロープが切損した勢いで前方に倒れ、ダンプ荷台下部で頭部を強打した。	56	30~49
7	10~11	コンテナ（40フィート、上部が空いていてシートで覆われた状態で、ロープで上下固定されたもの）の開コン作業をしていた。しゃがんでロープを緩めていく作業をしていた処、頭上にフォークリフトの高所作業台があることに気付かず、立ち上がろうとした際、当該高所作業台底部に頭左部をぶつけてしまい、その衝撃で首を捻り、負傷したものである。（ヘルメットは被っていた。）	41	1~9
7	11~12	当該被災者はコンテナで輸送されてきた小麦（バラ貨物）を、当社サイロビンへ倉入れ後の空コンテナ内の清掃を行っていた。清掃を終えコンテナから降りようといったん、コンテナの縁に腰をおろし、そこから臀部を滑らせるようにバッキン上（鉄製小麦投入口）へ降りようとしたところ、目測を誤りバッキンとコンテナの間に挟まれるような形となり、バッキンで左膝を強打した。	51	10~29
7	10~11	ハッチ2槽目を水揚中、モッコに入った冷凍鰹を船上クレーンで水揚げする際、安全な場所へ移動したが、その場所に積んでいたキハダマグロ（約30kg）4~5尾が1m位の高さから滑り落ちてきた。反対側へ逃げたら、水揚げしようとしていたモッコにぶつかった。その時、キハダマグロの尾の部分がモッコからはみ出していて、そこへ右脇腹をぶつけ負傷した。	36	30~49
7	15~16	事業所内倉庫にて、脚立から降りる際にバランスを崩し、足を踏み外し、足を捻挫した。	32	1~

				9
9	19～ 20	シャーシ固定作業中、ホースを抜き台より下りる際、チェーンの上に乗ってしまい足を強打し捻って、左第5趾中足骨骨折した。		1 45～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html